

2018年11月15日
丸紅株式会社

チリ共和国・ロスペランブレス銅鉱山のプラント増強計画実行について

丸紅株式会社（以下、「丸紅」）は、現地パートナーであるAntofagasta plc社（以下、「アントファガスタ社」）及びその他日本企業と共に出資するチリ共和国・ロスペランブレス銅鉱山につき、プラント増強計画（以下、「本プロジェクト」）の実行をチリ現地時間2018年11月14日に決定しました。

ロスペランブレス銅鉱山は、アントファガスタ社及び丸紅を含む日本コンソーシアムが共同運営する年間銅生産量約35万トン規模の世界有数の大型銅鉱山であり、チリでトップクラスのコスト競争力を誇ります。

本プロジェクトは、硬質鉱石割合の増加に対応するために選鉱場を増設し、脱塩水プラントを建設することで、日量19万トンのプラント処理量を達成します。本プロジェクトの建設費用は13億米ドル、建設完了は2021年を予定しており、建設完了後は年間6万トンの銅生産量の増加を見込んでいます。

丸紅は、優良銅権益を確保することにより、今後銅需要の増加が見込まれる電気自動車（EV）への対応や IoT 社会の発展に寄与し、日本への銅の安定供給に貢献することを目指しています。今後も長期的な視点から、更なる銅事業基盤の強化に継続的に取り組んでいきます。

以上

<ロスペランブレス銅鉱山概要>

所在地	チリ共和国第IV州（コキンボ州）	
資源量	60億トン、銅品位：0.51%（2017年末時点）	
銅生産量	年間約35万トン	
持分権益比率	会社名	権益比率
	アントファガスタ社	60.00%
	J X金属株式会社	15.79%
	丸紅	9.21%
	三菱マテリアル株式会社	10.00%
	三菱商事株式会社	5.00%